
第6回 昭島市総合基本計画審議会 第1部会

議事要旨

【日時】平成22年7月8日(木)19:00~20:30

【場所】昭島市役所 3階 庁議室

【出席者】

1 委員

松本芳之部会長、小川仁副部会長、井ヶ田博委員、大田眞也委員、小野正敏委員、國井俊彦委員、小林和子委員、中村圭子委員、福崎誠委員
(欠席者)平石正美委員

2 事務局

日下企画部長、佐藤総合基本計画担当主幹、柳主査

3 コンサルタント会社

白鳥

【日程】

1 基本計画素案

第3章 未来を育む あきしま (教育・文化・スポーツの充実)について
市民文化・学習・スポーツの推進

生涯学習

図書館活動

文化・芸術

スポーツ・レクリエーション

文化財

2 その他

【配布資料】

・第3章 未来を育む あきしま (教育・文化・スポーツの充実)

[議事要旨]

議事録の確認

次の修正を行うこととした。

・不登校の子ども達も夢は持っている。

問題行動のある子ども達も夢は持っている。

{ P5 (2) 青少年の育成 (不登校、倫理観、モラルについて) }

1 基本計画素案

【説明】

事務局より、資料に基づき「第3章 未来を育む あきしま (教育・文化・スポーツの充実)」の説明が行われた。

【質疑応答・意見】

(1) 市民文化・学習・スポーツの推進

生涯学習

(生涯学習の推進について)

生涯学習推進計画の計画期間は条例等で定められているのか。【小野委員】

条例で決まっているわけではないが、推進計画が10年、教育進行基本計画が5年の計画期間となっている。【事務局】

「体験的な観光の推進」(P16 基本施策 生涯学習推進体制の整備 D) とは、昭島市外での観光も含む考え方か。【松本部長】

観光に力を入れていく方針だが、市の歴史や産業を活かした観光拡充の可能性があると考えている。観光で人を呼ぶとともに、生涯学習の活動にもつなげていきたい。【事務局】

小さい頃に自然体験を多くしている人は、就業後に仕事をやり遂げるとの調査結果がテレビで紹介されていた。自然体験の大切さを位置付けられると良い。【小林委員】

P13 基本施策 体験活動の充実 A で自然を大切にすることや体験学習を位置付けている。【事務局】

(政策指標について)

市民大学の参加者数の現状値が310人 (P17 政策指標) とあるが、市民大学に参加した人数か。

2年をサイクルとして50人を募集しているが、それ以外の参加者も含まれるのか。【福崎委員】

現状値は参加延べ人数であり、卒業生や市民大学フォーラム等の活動も含むものである。【事務局】

(基本方針と条例について)

「昭島市文化芸術の振興に関する基本方針」(P17 生涯学習の推進 D 文化芸術活動の振興) は、昭島市文化芸術基本条例を指しているのか。【國井委員】

条例に基づいて基本方針を策定した。条例では基本的な理念を規定し、これを踏まえた基本計画に相当するものが方針で、条例制定の翌年に策定した。【事務局】

(生涯学習成果の活用について)

課題に示されているように、生涯学習の成果を活かしていくことが重要だが、基本施策のどこで位置付けられているのか。【松本部長】

計画全体の中で、福祉や教育等の分野で位置付けている。課題に対応した基本施策として、より明確に記述できるか検討する。なお、市民大学の講座に参加したことで市政に興味を深め、審議会に参加するようになった市民もいる。【事務局】

これまでは行政から提供されるものが中心であった。市民主体の取り組みになるのは望ましいことである。【松本部長】

(主な取り組みの内容のタイトル変更について)

「A家庭・地域の教育力の向上と活用」(P17 基本施策 生涯学習の推進)とタイトルが変更された趣旨を説明して欲しい。【松本部長】

地域の教育力の向上を図り、地域活性化につなげていくことが生涯学習における非常に重要なテーマの1つであり、「家庭・地域の教育力の向上と活用」において内容を明らかにした。【事務局】

図書館活動

(あきしまらしさについて)

あきしまらしさに関わるが、文字離れ及び活字離れが問題ともなっている中で、図書館ではどこにも負けないといった方向を打ち出すことが考えられる。【國井委員】

重きを置く施策の1つだが、図書館の全体的な施設充実が難しく、他都市に比べて高いサービス水準とは言えない状況にある。新たな社会教育複合施設とあわせて中央図書館を検討したい。建替が必要になった場合、電子図書や本を読むことだけではない様々なサービスを導入し、知の拠点として整備したい。また、複合施設として他の機能との相乗効果も発揮できるよう、コストとのバランスに配慮して検討する必要がある。【事務局】

今後10年は新たな施設整備やシステム導入を通して、あきしまらしさを打ち出す千載一遇のチャンスと考えられる。【國井委員】

「多目的な機能を有した社会教育複合施設の整備」(P16 生涯学習推進体制の整備 C学習の場の整備)とあるが、公民館が築25年と老朽化しており、社会教育複合施設は公民館機能を含めた施設とすることを検討できないか。他都市には無い特徴的な取り組みともなる。【福崎委員】あきしまらしさが発揮できるようなものを工夫して考えていきたい。【事務局】

(管理運営について)

指定管理者制度が全国的に導入されているが、昭島市ではやらないことにはできないものか。【小野委員】

費用対効果も含めた運営方法の検討が必要であり、実施しないとは言えない。施設整備の具体化を検討する中で、管理運営をあわせて検討する。【事務局】

(図書館活動について)

図書館で働いている方は司書なのか。【中村委員】

司書の資格を持っている方も多数いるが、全員ではない。【事務局】

「子どもの読書活動の支援」(P19 基本施策 図書館活動の充実C)とあるが、夏休み等には推奨図書がすぐになくなるので、学校に代わり、他のお勧めの本を提示してくれる方がいると良い。

【中村委員】

各学校で示される推奨図書は図書館に伝えられ、準備は行っている。また推奨図書に準じた図書の紹介も行っている。【事務局】

「利用者が有効活用できるよう分類、目録、配架、展示等に配慮し」(P19 基本施策 図書館活動の充実、B 図書館資料の充実)とあるが、利用者自身がデータベースを活用して検索できるのか。

【小林委員】

データベースは導入しており、利用者自身で検索が可能である。宿題向けの図書を夏休みには1箇所に集めることや、季節に応じたフェアなどの工夫を行っていくことを想定している。【事務局】

(ソフトを重視した情報提供について)

ハードとともに、使いこなすソフト面のノウハウが重要であり、情報提供できると良い。【松本部長】

学校の授業で教える他、図書館ではアウトリーチサービスも実施している。【事務局】

文化・芸術

(あきしまらしさについて)

各分野で様々な施策が位置付けられ、及第点を担っている感があるが、あきしまらしさを打ち出すためには、訴求する目玉を示すことが必要と考えている。そうした重点的な取り組みを行うべきなのが文化・芸術ではないか。市民の愛着や誇り、住んで良かったと思えるまちづくりにつながる。例えば、作品を常設展示する拠点整備や、オブジェ・彫刻の設置が考えられる。【國井委員】

検討は行ったが、財政面の制約もあり、1つの柱として大きく打ち出すことが難しい面がある。条例を受けて基本方針を策定したことが大きな成果と考えている。例えば、彫刻銀河など昭島ゆかりの芸術家の作品の常設などを通して、市民が芸術・文化に親しめる環境を一步一步整備していくことが重要と考えている。【事務局】

個々の取り組みは理解できるが、市長の考えも踏まえてより押し出して示せると良い。あきしまらしさは探すのではなく創るものであるとの意気込みを位置付けるべきである。すぐには創れないので、検討する体制をつくることを示してはどうか。【福崎委員】

市長は品格のあるまちをつくらうと話している。質の高いまちを目指す中で、文化・芸術も重要視し、あきしまらしさにもつなげたいとの考えである。【事務局】

市制施行30周年の節目であるとともに、経済環境が大きく変化し、従来の価値観が揺らぎ、企業活動ではCSRやコンプライアンスが重視されるように変化してきた。将来を見通すことが困難となっているが、今後の変化も予測しつつ、重点方向を示すことが望まれ、文化・芸術はそれに相応しいと考えている。【國井委員】

医療や健康等の基盤を整えた上で、文化・芸術が彩りを添えてまちが熟成していく。オンリーワンを示すことも重要だが、まずは基本的な部分を押さえた上で取り組みを進める必要があると認

識している。【事務局】

一朝一夕に実現するのは困難である。まち全体が文化的・芸術的となるためには子どもの時の活動が重要であり、文化会館等を活用して、様々な鑑賞の機会を提供できると良い。昭島市単独ではなく、周辺都市と連携して実施することも考えられる。【小林委員】

子どもを特に重視した考え方を基本方針で示している。【事務局】

スポーツ・レクリエーション

(施設整備について)

市民球場が落成したが、このようなスポーツ基盤を整備することが重要ではないか。(P26 基本施策 スポーツレクリエーションの基盤整備「A施設の維持・管理と活用」)【國井委員】

施設整備はスポーツ振興の基本の1つだが、財政的な制約により、新たな整備は困難な面がある。既存施設の維持・管理と利活用充実を図っていく。【事務局】

アイススケートリンクが閉鎖されてしまった。企業は採算が取れなくなると撤退してしまう。【國井委員】

企業とも連携を取りながら対応したい。【事務局】

文化財

(文化財マップについて)

「文化遺産などの活用」(P28 文化財の活用B)について、文化財マップは作成されているのか。【國井委員】

現在改訂版を作成中である。【事務局】

2 その他

次回は8月5日開催予定。